

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 04 07	中期総合計画主要施策番号		3 - 01		担当課	部・課	衛生部健康づくり支援課	
事業名		精神保健対策事業				内線		2643		
						E-mail		kenko@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・精神保健福祉に関する知識の普及や技術援助等を行い、県民の精神的健康の保持・増進及び精神障害者の社会復帰並びに福祉の増進を図る。								
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]								
		・ひきこもりやギャンブル依存症などの嗜癖問題など新たな課題への対策が求められている。								
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]								
	事業内容	・従来(の)の思春期精神保健やアルコール等の精神保健に関する課題に加え、ひきこもりやギャンブル依存などの新たな課題への対応が十分に行われていない。								
[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)]										
実施期間	・新たな課題への対応も視野に入れた人材育成や組織づくりなどを行う必要がある。									
	S47 ~		根拠法令等 精神保健福祉法第6条							
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	精神保健福祉に関する人材育成や地域における組織づくりや相談を行い、県民の精神的健康の保持増進を図る。		・市町村等への技術指導援助を800件程度行う。 ・専門的研修等参加人員を延3,000人程度確保する。 ・精神保健福祉相談に適切に対応する。			・市町村等への技術指導援助を822件実施し、技術の向上が図られた。 ・専門的研修等に3,049人参加したことで、知識の普及が図られた。 ・精神保健福祉相談を2,996件実施して精神保健活動を推進した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	4,988	4,179	4,836	国庫・県単 国庫・県単			
	決 算 額 (B)		千円	4,765	3,907		実施方法 直接			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	3,177	2,605	1,987	歳出節別			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	16.00	16.00	16.00	内訳等			
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	114,240	114,384	114,384	(単位: 千円) 報償費 3,457 旅 費 450			
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	技術指導援助		回	902	822	900				
	専門研修会への参加者		人	4,636	3,049	3,500				
	精神保健相談		件	3,153	2,996	3,000				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・経済状況の悪化等により精神保健ニーズは増加するとともに、ひきこもり・発達障害・各種依存症など、新たな課題も出てきている中で、関係団体等と連携を図りながら効果的な精神保健対策を推進する必要がある。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		近年増加しているひきこもり・発達障害・各種依存症などの現状を分析し、県として市町村や関係者に対し、適切な技術指導や研修等を実施する必要がある。							